

# 山梨ライトハウス

山梨県盲人福祉センター（点字図書館）  
 電話／055-222-3502・223-1113（貸出専用）  
 青い鳥ホーム 電話／055-252-8994  
 青い鳥成人寮 電話／055-224-5060  
 青い鳥支援センター 電話／055-221-1260  
 青い鳥老人ホーム 電話／0553-26-6631  
 青い鳥ケアホーム 電話／055-235-5566

第81号

発行／社会福祉法人 山梨ライトハウス 〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1

TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124 URL <http://yamanashi-lighthouse.or.jp/>



## 11月は白い杖愛護運動月間です。

### CONTENTS

バリアフリーらいふ	1	納涼祭	6
ライトハウスニュース	2・3	運動会	7
今、福祉は	4	お知らせ	8
白い杖愛護運動月間	5		

# 社会福祉法人としての役割

## バリアフリーらいふ

平成二十八年四月「障害者差別解消法」が施行され二年が経過しました。この法律は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項や、国の行政機関、地方公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めること

によって、すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげる」ことを目的としています。

しかし無理解から引き起こされる、盲導犬同伴の飲食店への入店拒否、また宿泊施設の使用拒否、こんなことがあると果して障害者のこと、また盲導犬の役割やこの障害者差別解消法が正しく理解されているのでしょうか。

山梨県では平成八年四月「山梨県ハーネス友の会」を結成、盲導犬（補助犬）の啓発と普及活動を開始しました。現在十九頭の盲導犬が活躍しています。

山梨ライトハウス職員のNさんは

盲導犬ユーザーです。職場の青い鳥ホームへはバスと十五分ほど盲導犬と歩いて通勤しています。通勤しはじめた頃、乗客は声を掛けてよいものか迷っている様子でした。しかし数日すると声を掛けて下さる方がいました。

「こちらの席が空いていますよ」次の日には違う方の声で「ここへどうぞ」Nさんも明るく返事を返します。一人の勇気ある声掛けが、視力に障害のある方へ大きな安心感と同時に安全につながります。「視覚障害者が駅ホームから転落」そんなショッキングな報道を耳にする

すると「何かお手伝いすることありますか？」と二声掛けてもらえていたらと残念で胸が痛みます。

十一月は、山梨県と山梨ライトハウスは第六十四回白い杖愛護運動月間を協同で開催します。甲府駅前

山梨ライトハウス

事務局長 標

照二



朝日小学校前を盲導犬と共に青い鳥ホームへ

# ライトハウスニュース

## NEWS NEWS NEWS

### ● 盲人福祉センター

#### PTR3の操作研修会

今年度PTR3が発売されました。最大の特徴は、インターネットに有線・無線でつながることができサビエから図書データのダウンロードができることです。

このPTR3を購入された皆様のサポーターとして名乗りを上げてくださったボランティアの方々を対象に操作の研修会を行いました。

PTR3の操作にまだ不安があるがライトハウスまで行くのは大変、という方のために自宅を訪問して操作の説明をします。生まれたばかりのサポーターですが、利用していただき活発な活動になればと思っています。



PTR3操作

受講するサポーターの皆さん

### ● 青い鳥老人ホーム

#### 祝！敬老お祝い会

爽やかな青空の広がる九月十三日。青い鳥老人ホームでは、敬老お祝い会が盛大に行われました。

今年もわかば保育園の園児たちが来所し、ピアノ演奏・合唱・肩たたき等を披露してくれました。愛らしい歌声と、小さなお手々の肩たたきに、利用者は一斉に笑顔になりました。お祝い膳は大好物の握り寿司と、海老しんじよの澄まし汁・抹茶ケーキで舌鼓。職員による余興や福引で、盛り上がりました。来年の敬老お祝い会も、みんな元気に迎えられますように。これからも笑って楽しく過ごしましょう！



可愛い肩たたき



施設からのプレゼント



お祝いのお寿司に舌鼓

### ● 青い鳥成人寮

#### 山梨大学合唱団との交歓会

八月二十七日、山梨大学合唱団との交歓会が行われました。青い鳥成人寮の開設当初から続いている伝統行事ですが、昨年はインフルエンザ対策で中止になってしまった経緯があり、久しぶりの開催でした。

学生さんの明るく親しみやすい合唱は、手のひらを太陽にや、鉄腕アトムなど、利用者さんの知っている曲が中心で、皆さん、にこやかに手拍子したり口ずさんでいました。甲州生まれの手前味噌ダンスは、打ち合わせで「二度聴いたらあつという間に踊れますよ！」と学生さんが自信を持っていただけに、聴いた途端に踊り出したくなる軽快なメロディーでした。多くの利用者さんが立ち上がり、一緒に大きな声で「たまえみそ♪」と歌い、思い思いの表現で身体を動かして楽しみました。

また、学生さんと輪になっておこなったミニゲームでは、ベテランスタッフの進行も相まって、大盛り上がり。あつという間の楽しい午後ひとときでした。学生さんのハツラツとした爽やかさと利用者さんの笑顔に、スタッフ一同、元気をもらいました。



あぁ楽しい!



何が始まるかな?



手前味噌♪

来年も待ってます!

● 青い鳥支援センター

センター自慢

青い鳥支援センターは年間通して月に回は行事が開催されています。今年の夏は異常な暑さでしたね。お散歩や水遊びもしたいな〜と準備をしていたものの実施できず。そこでいつもお世話になっている貢川福祉センターにて、大好きなカラオケを二日中楽しもう！とカラオケ大会を計画しました。もちろん大好評で楽しい一日でしたよ。二年前よりお世話になっている貢川福祉センターは、優しい職員の皆さんがいつも温かく迎えてくれます。トイレの設備や空調の調整を始めカラオケのセット等細やかな心遣いに感謝しています。大人数で楽しむ、活動に理解をして頂ける場所があることはとても心強く活動の内容も広がります。これからも、どうぞよろしく願います。九月には、ボウリングも楽しんできました！あつという間に秋本番！次回行楽の報告をお楽しみに！！



はい、チーズ!



大人気な企画です。



ボランティアの学生さんと。



サイクリングロードのお散歩



カラオケ楽しかったよ。

● 青い鳥ケアホーム

富士急ハイランド・ふじやま温泉

九月十九日、青い鳥ケアホームでは富士急ハイランド組とふじやま温泉組に分かれて秋の行楽に行つてきました。幸い天候にも恵まれ、行楽には最高の一日でした。ハイランド組は絶叫系の高飛車を含む様々なアトラクションに乗りました。並んでいる途中で怖くなって断念した人もいましたが、スリルと興奮で日頃のストレスを発散しました。温泉組は青空の下、爽やかな風にあたりながら露天風呂やバナジウム風呂等に浸かり、日頃の疲れを癒してきました。最後に合流して皆で集合写真を撮り、おやつを食べながら楽しかったお互いの話を盛り上げてもらいました。普段とは違う体験に、いつもと違う表情も見られ楽しんだ日でした。



絶叫戦隊ハイランダー



皆で集合写真



ほうとうも蕎麦もおいしいね



しっかりつかまって!

● 青い鳥ホーム

無料マッサージ治療を行いました

青い鳥ホームでは、九月十八日から十月七日までの約一ヶ月間にわたり、無料マッサージ治療を行いました。この事業は、敬老の日の一環として青い鳥ホーム開設(昭和三十二年)当初から続けられているものです。

日頃、お世話になっていきます塩部地区自治会の皆さん並びに近隣の方々へ感謝の気持ちを含めて無料マッサージ券を配布し、多くの方々にマッサージを受けていただきました。この時期に多い夏の疲れや肩のこり、また未病の改善がはかれるよう心を込めて行いました。

今回も視覚障害者の図書作り、また交流行事その他でご支援いただいています、青い鳥奉仕団の方々にもご利用いただいています。

青い鳥ホームとは、昭和三十二年に甲府市塩部の朝日小学校の北側に、視覚障害者を持ちながらも、あん摩マッサージ指圧師、鍼師、灸師の免許を有しマッサージの施術をすることにより社会へ自立していく、その支援を行う施設です。ぜひ一度ご利用ください。



訓練にも熱が入ります。



真心こめてマッサージ

# 平成三十一年度同行援護従業者養成研修を開催

青い鳥支援センター 坂本 道穂

平成三十一年九月三十日(日)より十月二日(火)までの三日間、同行援護従業者養成研修一般課程を実施させて頂きました。今年も多くの方が受講されました。

毎回、講義や実技の内容で研修計画を組んでいますが、前年度の反省や今年の受講生の取り組みの様子で、講義・実技内容を開催側として同行援護を利用される方々にとって平均したサービスを提供して頂きたい、このヘルパーさんでないと言ってしまう事ではなく、誰が同行援護支援をしても大丈夫と感じてもらえる様に考えています。

今年度の研修でも初日に比べ、皆さんのレベルが徐々に上達していく様子を感じる事ができました。三日目には台風の影響が心配でしたが、心配なく実際に外へ出ての練習をする事ができました。また、今回の受講された方の中には、聴覚に障がいをお持ちの方がおり、盲ろうの方の支援をされているとの事です。受講中は、一生懸命に時折笑顔を見せ取り組まれています。

受講生からは、「日頃の支援を振り返る事ができた。」「視覚障がいの方が日常生活や外出支援時にどの様な



講義の様子



階段のガイド



実技の様子

気持ちなのか、何を必要としているのか知る事ができた。」「当事者の立場を経験でき、同行援護の重要性を確認できた。」「また、あの人に来て欲しいと言って頂けるような同行援護者になりたい。」など多くの感想を頂けました。

最近では同行援護を利用される方が、少しずつ増えてきたようにも感じ、嬉しく思っています。これからも、同行援護を利用する方が増えると思っておりますので、講師共々更に良いサービスを提供して頂ける様努力していきたいと思っております。

今回ご参加頂きました方のご活躍を期待すると共に、ご協力いただきました講師の方々には心より感謝申し上げます。有難うございました。

# 移動ライトハウスin都留市

盲人福祉センター 細川 純子

「視覚障害者や盲導犬についてもっと知ってもらいたい!」という山視協都留支部発案のもと「視覚障害についての勉強・体験会」が、八月六日(月)いきいきプラザ都留で小中学生とその親子を対象に開催されました。

参加者からは、「盲導犬の仕事や目の見えない怖さなど様々なことを知ることができました。」「街で視覚障害者を見かけたら声をかけていきたい。」などの感想が寄せられました。

## 次回の移動ライトハウス

十一月二十三日(祝)午前十時〜午後三時 甲州市役所本庁舎(塩山上於曾)「こやしゅう福祉まつり」へ参加します。「こやしゅう福祉まつり」へ参加します。盲導犬による歩行体験、視覚障害者用具の体験、成人寮々生の作品販売も行います。是非、皆さまお越し下さい。



パソコン体験コーナー



点字体験コーナー



福祉用具の体験



盲導犬歩行体験

# 第64回白い杖愛護運動月間実施要綱

## 1 目的

この運動は、県民の一人一人が目の不自由な人たちを正しく理解し協力するとともに、目の不自由な人たち自らも積極的に自立し、進んで社会活動に参加することのできる「ユニバーサル社会」の実現を目指す県民運動です。

## 2 主催

山梨県 山梨県教育委員会 社会福祉法人 山梨ライトハウス

## 3 後援

山梨県社会福祉協議会 山梨県市長会 山梨県町村会 山梨県共同募金会 山梨県連合婦人会 山梨県交通安全協会 山梨県公立小中学校長会 山梨県高等学校長協会 山梨日日新聞社 山梨放送 NHK甲府放送局 読売新聞甲府支局 テレビ山梨 山梨県立盲学校 山梨県障害者福祉協会 山梨県ボランティア協会 山梨青い鳥奉仕団 山梨県視覚障がい者福祉協会 山梨県眼科医会 山梨アイバンク 山梨県タクシー協会 山梨交通株式会社 富士急行株式会社

## 4 実施期間

平成30年11月1日～平成30年11月30日の1ヵ月間

## 5 運動の目標

### ◎安全な移動環境の整備

- ① 目の不自由な人たちは外出するとき、必ず白い杖を持ち、車とすれ違う際には走行音にも気を配り自ら歩行の安全確保につとめる。
- ② 横断歩道、バス停、駅構内などで、目の不自由な人や他の障害をもつ人たちに積極的に声をかけ必要に応じて協力する。
- ③ 盲導犬の普及をはかるとともに、交通機関、飲食店、食料品店、宿泊施設等へ盲導犬を同伴できるよう啓発する。
- ④ 視覚障害者用誘導ブロック、エスコートゾーン（道路横断帯）、音響信号機、音声案内装置、点字や音声による案内表示の普及をはかるとともに、歩道に自転車や障害物を置かないよう啓発する。
- ⑤ 目の不自由な人や他の障害をもつ人たちが、バス、タクシー、電車などを安心して利用できるよう環境を整備するとともに、運転者は、道路を横断する人たちに対し徐行、一時停止を守るようつとめる。
- ⑥ 目の不自由な人や他の障害をもつ人たちが、安心・安全な移動を実現するために同行援護サービスの質の確保につとめる。

### ◎生きがいある自立就労支援の拡大

- ① 目の検診や相談活動により、障害の早期発見、早期治療、早期訓練などにつとめ自立への積極性を育成する。
- ② 目の不自由な人たちの鍼灸マッサージ業を守り、無資格者をなくすとともに、ヘルスキーパー（健康管理理療師）、ケアマネジャー、機能訓練理療師など職域の拡大をはかる。
- ③ 途中で目が不自由になった人たちの職場復帰をはじめ、IT・情報通信機器を積極的に利活用した職能訓練等を通じて自立就労の拡大につとめる。
- ④ 生活の自立が困難な目の不自由な高齢者や障害を重ねてもつ人たちが、安心して暮らせる施設の整備をはかるとともに、地域において自立生活ができるよう支援につとめる。
- ⑤ 目の不自由な人たちの緊急時における避難誘導、安否確認・支援ニーズを把握するマニュアルづくり、避難行動要支援者名簿の整備など、県・市町村における防災対策の強化につとめるとともに、防犯対策に関する知識の普及、啓発を図る。

### ◎文化情報サービスのバリアフリー

- ① 障害の多様化や情報通信技術の発達などを背景に多様な

ニーズに対応するため、公共図書館と情報の共有・連携をはかり、障がい者サービスの一層の充実につとめるとともに、地域におけるボランティア活動の育成と技術の向上をはかる。

- ② 県・市町村等の公共機関をはじめ、郵便局、銀行、病院等における各種情報の点字化・音声化、代読・代筆などを通じて利用の便宜をはかるとともに、県民に対する点字の普及につとめる。
- ③ 音声パソコン・携帯端末・音響機器・拡大読書器などを活用し、目の不自由な人たち自ら情報の収集につとめるとともに、これらの機器が日常生活用具として給付されるよう自立支援サービスの充実につとめる。

### ◎交流・啓発活動の拡大

- ① 盲学校、視覚障がい者福祉協会、山梨ライトハウス等、地域との交流を一層推進するとともに、相互の協力関係の輪を広げ福祉思想の啓発につとめる。
- ② 白い杖作文、福祉講話などを通じて児童生徒とのふれあいを深め、「共に生きる」思いやりの心を育成する。
- ③ 目の不自由な人たちをはじめ、他の障害をもつ人たちとのスポーツ、レクリエーションその他趣味活動を通じて県民との交流の機会を拡大する。
- ④ 目の愛護運動を通じて失明を予防するとともに、角膜提供運動を推進する。

## 6 運動月間行事

### ① 白い杖・盲導犬キャンペーン

日 時 平成30年11月1日（木）午前7時30分～8時30分  
場 所 甲府駅南口及び北口 他郡内地区2ヵ所  
内 容 啓発パンフレットとふれあいの鈴などの配付、広報車による甲府市内での啓発活動

### ② 白い杖福祉の集い

日 時 平成30年11月4日（日）午前10時～11時30分  
場 所 山梨県立盲学校体育館  
内 容 奉仕者知事表彰  
白い杖愛護作文・生活体験文表彰  
最優秀作文発表

### ③ 白い杖愛護作文・生活体験文募集

募集期間 平成30年7月23日（月）～9月3日（月）  
対 象 白い杖愛護作文（県下の小・中・高校の児童生徒）  
生活体験文（県下の目の不自由な一般および児童生徒）  
表 彰 白い杖愛護作文では各部門ごとに最優秀1編及び優秀5編を表彰する。  
生活体験文では各部門ごとに最優秀1編及び優秀3編を表彰する。

### ④ 運動月間の周知

各支援団体、報道機関を通じてこの運動の趣旨及び活動内容を周知し、理解を深める。

第63回白い杖福祉の集い（生活体験文表彰式）



甲府駅前での白い杖・盲導犬キャンペーン

# 納涼祭

8月25日山梨ライトハウス恒例の地域交流納涼祭が池田自治会様のご協力のもと盛大に行われました。今年は熱帯夜での開催となりましたが、暑さも吹き飛ばす池田おやなぎ連の太鼓の音色は、一層祭り気分にはさせてくれました。多くの方々においいただき、ボランティア参加のNPO法人オールウィンさんによる「流しそうめん」と「射的」は地域のお子さんや利用者さんで賑わいました。

また、音楽ユニット「夏みかん」さんの美しいハーモニーは、時々吹く夜風と一緒に皆をほっとさせてくださいました。池田民謡部の盆踊りでは恒例の炭坑節・武田節は利用者さんにも馴染みのある曲で、楽しそうに踊る姿が印象的でした。できれば来年はもう少し涼しい納涼祭でありますようにと願っています。



▲おやなぎ連の祭り囃子



▲よ〜く狙ってねっ



▲夕焼け空がきれいになってきました



▲何が当たったかな…

あ〜満足満足



▼そ〜めん、取れました!



▲「夏みかん」さんの素敵なハーモニー



▲う、うまそう!



▲おめかしなふたりっ



▲花火ちよ〜だい!



▲池田民謡部の皆さん

# 第31回 県下視覚障害者交流秋季運動会

10月7日(日)山梨県立盲学校において、山梨県視覚障がい者福祉協会・山梨青い鳥奉仕団・山梨ライトハウスの三団体による交流運動会が開催されました。

台風25号の影響が心配されましたが、当日は快晴。入場行進の後、元気よく選手宣誓が行われ、運動会が始まります。

午前中に「出た目でリズム」「力を合わせて」「防災訓練」「味覚の秋」「あおとりウルトラクイズ」「綱引き」が行われました。

「力を合わせて」は、大玉やヘルメット、水の入った器を隣の人に渡して、そのスピードを競う競技です。今年は4回対戦をしました。赤白共に実力が拮抗しており、手に汗握る展開でした。

午後からは「けつあつ測定」「鳴物競争」「じゃんけんポン」「福拾い」「紅白対抗リレー」が行われました。

「じゃんけんポン」は全員でじゃんけんをする競技ですが、今年は交流を目的としたルールで行われ、お隣同士で声を掛け合いじゃんけんする事で、新しい出会いが生まれました。

最後に「紅白対抗リレー」の力走で会場は大いに盛り上がり、すべての競技が終了しました。

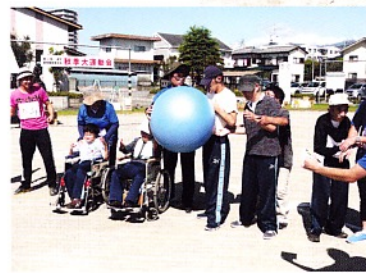
今年は40対32で白組が勝ちました。幸運を呼ぶ雲「彩雲」が青空に浮かんだご利益でしょうか!? 10月とは思えない暑さの中、体調を崩すことなく、皆気持ちいい汗を流して楽しい一日を過ごせました。



▲秋晴れ 運動会日和



▲サイコロの目の数の音を鳴らす「出た目でリズム」



▲「力を合わせて」大玉を送ります



▲元気よく選手入場



▲力強い選手宣誓



▲〇か?×か?「あおとりウルトラクイズ」



▲砂袋をバケツに入れて「防災訓練」



▲柿にしようか?ミカンにしようか?「味覚の秋」



お疲れ様でした「万歳」



▲はじめまして「じゃんけんポン」



▲40対32で白組の勝ち

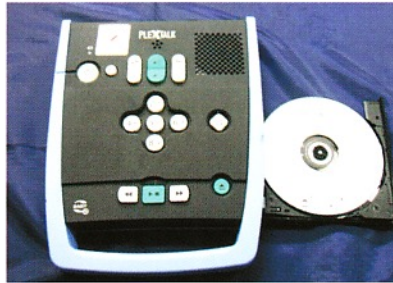
▲オーエス!オーエス!「綱引き」

▲「紅白対抗リレー」の力走

## 赤い羽根共同募金会の助成で貸出用 プレクストークを購入しました

デジター図書を聞きたいけれど、給付の対象になっていない方、給付耐用年数がまだ経っていないのに機械の不具合でお困りの方などにPTN-3(再生専用機)を貸出します。お気軽にお問い合わせ下さい。

★盲人福祉センター  
(点字図書館)  
貸出係  
055-223-1113まで



新機種PTN-3

## 音訳奉仕員養成講習会 が修了しました

これから練習を積み重ねて実践に入ります。皆さん今後とも、図書製作へのご協力をよろしくお願いたします。



音訳奉仕員養成講習会受講者

## 第21回障害者文化展へ出展

平成30年度障害者文化展において山梨ライトハウス川柳会(指導者 浅川和多留先生)の河口竹子さんが山梨県「知事賞」佐野しまさんが山梨県議会「議長賞」を受賞しました。また、青い鳥成人寮の利用者のみなさんも陶芸などの作品で数多く受賞しました。

山梨県障害者文化展表彰  
芸術文化イメージキャラクター表彰



県障害者福祉協会竹内理事長と受賞を喜ぶ河口竹子さん(右)



河口竹子さんの作品(中央)



青い鳥成人寮の出展作品

## 第5回山梨県視覚障害者等 囲碁大会開催

9月1日(土)山梨県防災新館において山梨県障害者芸術・文化祭が開催され、併せて視覚障害者等交流の囲碁大会が行われ、級の部・段位の部そして名人の部とそれぞれ熱戦が繰り広げられました。



神経を研ぎ澄ましての一手



白熱した名人選

## 川柳

(九月のライトハウス川柳会から)

浅川 和多留 選

「雑詠」

身延山時に石段まわり道

井口 貞子

彼岸過ぎそろそろ爛も旨かろう

標 照二

台風が暴れて街は地獄絵図

埜村 和美

憧れの山を泣かせる事故多し

高坂 康平

あの月が俺の総てを知っている

細川 一

墓参りみな元氣かと亡き夫(つま)の声

本間りょう

本好きが手当たりしだい読みあさる

佐野 しま

小作ほうとう和室で食べる大家族

加藤 隆

穏やかに米寿迎えて過ごす日々

斉藤 盛幸

進むボケ晩酌だけは忘れない

萩原 満治

ぶどう狩り絆あふるる三世代

桑原 梅治

ヘルパーの声は神です女神です

河口 竹子

夏休み財布がゆるむお盆玉

中山伊知郎